



日本共産党

北区議会議員

のの山けん区政レポート

http://www3.kitanet.ne.jp/~nonoyama/ E-mail nonoyama@kitanet.ne.jp

No.44 2008.4.22

発行 のの山けん事務所

〒115-0042志茂4-6-15

ご相談は
お気軽に **090-2156-3510**



後期高齢者医療制度

保険料は国保より

高くなる

国保からの移行で負担増になる
市区の例 (月額、円、上位15市区)

順位	市区	国保料	後期高齢者保険料	負担増
1	川崎市	4,801	8,257	3,456
2	金沢市	5,952	9,295	3,343
3	神戸市	5,723	9,044	3,321
4	広島市	5,155	8,216	3,061
5	武蔵野市	4,300	6,983	2,683
6	横浜市	5,683	8,257	2,575
7	名古屋市	5,784	8,292	2,507
8	藤沢市	5,784	8,257	2,473
9	仙台市	5,608	7,988	2,380
10	北区	4,680	6,983	2,303
〃	墨田区	4,680	6,983	2,303
〃	荒川区	4,680	6,983	2,303
〃	足立区	4,680	6,983	2,303
〃	葛飾区	4,680	6,983	2,303
〃	江東区	4,680	6,983	2,303

北区の負担増額は月額2303円で、全国で第10位と

小池氏の試算によれば、北区の負担増額は月額2303円で、全国で第10位と

後期高齢者医療制度の保険料について政府・与党が「7、8割の人は値下がりする」などのべてきたことに対し、日本共産党の小池晃議員は17日の参院厚生労働委員会、独自の調査結果(表参照)を示して追及、多くの自治体で国民健康保険料より高くなっていく事実を明らかにしました。

後期高齢者医療制度の保険料について政府・与党が「7、8割の人は値下がりする」などのべてきたことに対し、日本共産党の小池晃議員は17日の参院厚生労働委員会、独自の調査結果(表参照)を示して追及、多くの自治体で国民健康保険料より高くなっていく事実を明らかにしました。

厚労大臣も「下がる根拠なし」と認める

小池氏の質問に対し、舛添要一厚労相は「保険料が下がる」という自身の発言について説明できなくなり「正確なところは分からない」と、根拠のないことを認めざるを得ませんでした。

※夫婦世帯(夫は年金月額16・7万円、妻は基礎年金のみ、国保料の資産割のある市では資産割を月額1583円と仮定)

公明党 根拠失った厚労省の 言い分うのみに 「保険料安くなる」と宣伝

国民の怒りが沸騰するなか、公明新聞は「保険料が安くなる」などと宣伝しています。小池議員の質問で根拠を失った厚労省の言い分をうのみにした記事です。公明党の太田昭宏代表は国民の怒りをよそに「(野党が)言っていることは、すべて罵倒や中傷」(15日)などこのべています。

2008年(平成)20年4月9日(水曜日) 第14701号(日刊)

安心で持続可能な制度に

75歳からの医療制度がスタート

高齢者に応じた医療サービス提供

坂口 力 副代表に聞く

新制度のポイント

- ・保険証が新しくなる
- ・保険料は安くなる人が多い
- ・治療窓口負担は変わらない
- ・担当医を持つことが可能

公明新聞

行政教育の実効
新N/Aの東洋
ジョブカードで

飛鳥 晴山苑

東京外語大跡地にオープンの特養ホーム

志茂・赤羽後援会が見学ツアー



都電「西ヶ原4丁目」駅下車すぐです

西ヶ原の東京外国語大学跡地にこの5月、いよいよ特別養護老人ホーム「飛鳥晴山苑」がオープンします。4月17日、日本共産党志茂・赤羽後援会は、開設を前にした同施設の見学ツアーを開催、のの山けん区議を先頭に30人が参加しました。都電「西ヶ原4丁目」駅を降りて徒歩5分で晴山苑に到着。真新しい施設内を、最上階の6階から下の階へと順に見学しました。

特養ホームはユニット型で、すべて個室となっております。車椅子でも自由に動き回れるよう、室内や廊下がお風呂は、入居者がたくさん入れる大浴場のほか、寝たまま、座ったままで入浴できる器具も完備されていました。

1、2階には障害者用のシャートステイや作業所も併設されており、多くの利用者も期待されています。

一行は、施設内のティールームで、この日だけ無料で配られたパンとコーヒートを頂いて帰路につきました。



ユニット型の特養ホーム室内を見学しました

北社保病院は公的病院として存続を

「拡充させる会」が「春のつどい」を開催 70人が参加



北社保病院を拡充させる会主催の「春のつどい」であいさつする（右から）そね都議、さがら区議、のの山区議

4月20日、北社会保険病院と老健施設「さくらの杜」の存続と拡充を求める「春のつどい」（主催・北社保病院を拡充させる会）が赤羽台さくら並木公園で開かれ、70人を超える住民らが参加しました。

合唱や琴と篠笛の演奏で幕を開けた集会では、健保労組の代表や患者らが、社保庁解体によって10月以降に保有主体を失う同病院を公的病院として存続させよと訴えました。

日本共産党からは、そねはじめ都議、さがらとしこ、のの山けんの両区議が参加し、あいさつしました。